

令和3年3月2日 本会議 代表質問

所属会派(4人以上)を代表して、県政全般について質問



「ゼロ花粉宣言」はしないのかな？

富山県は「ゼロカーボン宣言」しているんだね。

「富山県感染症対策基本条例(仮称)」を制定すべき

質問 感染症対策の基本的な考え方や誹謗中傷対策も含め、今後の感染症発生に備えるため条例を制定すべき。

回答(知事) 現在、県、市町村、県民、医療機関などの果たす役割や感染患者等の人権の尊重を含めた基本的考えを規定している県の感染症予防計画

がある。専門家のご意見も伺うとともに、条例施行都府県の状況を調べ、条例制定の必要性について今後の感染症の状況等勘案し検討していく。

感染症対策は、基本的考え方や推進する枠組みを条例で明確にして、県民全てが共有し、備えることが大事です。

「北陸の十字路」構想をどのように実現していくのか

質問 構想の実現には、あらゆる分野で北陸3県の交流が要で、核を作っていくことが重要だ。

回答(知事) 先般石川県知事と観光、県際道路の整備などについて懇談し、継続的開催に合意した。今後教育・ものづくりなどで連携したい。構想の実現には、北陸3県を核として、さらに隣県と知事同士の交流をはじめ様々な分野で交流連携を強化して

いくことが重要であり、積極的に取り組んでいく。

北陸3県の強みを生かし、厚みを増して、さらに隣県と交流連携し日本海側の十字路を目指したい。



(録画中継QRコード)



中川忠昭(自民党新令和会)

「とやまゼロカーボン」実現に向けた取り組みについて

質問 ゼロカーボン社会の実現に向けた取り組みが加速すると予想されるが、再生可能エネルギーの推進を図るうえで里山林整備による吸収源対策をどのように推進するのか。

回答(農林水産部長) 県内には再生利用が困難と見込まれる農地が170ha確認されている。国では、燃料に用途を絞った森林を

造成する「エネルギーの森」構想が検討されており、荒廃農地に早生樹を植栽し木質バイオマス燃料として循環利用することは重要と考える。

環境省と農林水産省の連携と即効性ある対策を期待しており、中山間地域の振興を一層図っていきます。

富山児童相談所の機能拡充について

質問 富山児童相談所の機能拡充については、自民党議員会として、子どもと家庭の支援に必要な様々な機能の複合拠点化に向けた検討を求めてきたが、どのように議論を進めるのか。

回答(知事) 新年度、検討委員会を設置し、他の相談機関等との連携のあり方をはじめとする機能強化や、立地や規模等の施設整備の方向性について、

速やかに具体的な方針を決定したい。中核市である富山市とも十分に協議する。

富山児童相談所の機能強化や拡充は喫緊の課題であり、スピード感をもって進められるよう努力したい。



(録画中継QRコード)

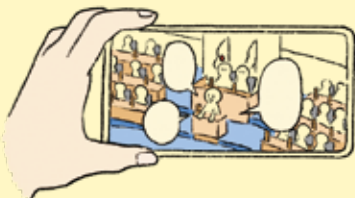


宮本光明(自由民主党)

特に富山県は災害が少ないよね。先人のおかげだと感謝しなくちゃ。

北陸3県は幸福度がなくて暮らしやすいつて言われているよね。

QRコードを読み取って
議会中継を視聴してみよう。



富山県議会
インターネット中継

